

PAT-NO: JP403010875A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03010875 A  
TITLE: CLEANING METHOD OF PRINTER  
PUBN-DATE: January 18, 1991

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
TERANISHI, YUKIHIDE  
NAKAMURA, HIRONORI

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME COUNTRY  
NEC CORP N/A

APPL-NO: JP01147255  
APPL-DATE: June 8, 1989

INT-CL (IPC): B41J029/17, B41J011/02  
US-CL-CURRENT: 400/648, 400/701

ABSTRACT:

PURPOSE: To clean the contamination of a platen by winding an adhesive tape around a roll and bringing the roll into contact with the platen.

CONSTITUTION: A devised adhesive tape is wound around a cleaning roll 1. The cleaning roll 1 is mounted to a cleaning roll shaft 2 and further mounted to frames 5 through bushes 4 and can be freely rotated. Springs 3 are mounted to the bushes 4 and the frames 5 in order to press the cleaning roll 1 to a platen 6. Further, a cutting perforation simply cuttable in the lateral direction is formed to the adhesive tape of the cleaning roll 1 and, when cleaning effect becomes bad, the surface of the cleaning roll 1 can be simply replaced. When the frames 5 are mounted to platen bushes 7 at both ends, the platen 6 and the cleaning roll 1 are brought to a contact state and the cleaning roll 1 also rotates according to the rotation of the platen 6 and the paper powder contaminant on the platen 6 is cleaned.

COPYRIGHT: (C)1991, JPO&Japio

----- KWIC -----

Document Identifier - DID (1):  
JP 03010875 A

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-10875

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)1月18日

B 41 J 29/17  
11/02

8403-2C

8804-2C

B 41 J 29/00

J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 プリンターのクリーニング方法

⑯ 特 願 平1-147255

⑰ 出 願 平1(1989)6月8日

⑱ 発 明 者 寺 西 幸 秀 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内  
⑲ 発 明 者 中 村 尋 則 神奈川県川崎市高津区溝口578番地 東信電気株式会社内  
⑳ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号  
㉑ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

プリンターのクリーニング方法

2. 特許請求の範囲

粘着テープをロール上に巻き上げ、ロールとブラテンとを当接させることによりブラテンの汚れを清掃することを特徴とするプリンターのクリーニング方法。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はプリンターのブラテンの清掃方法に関し、特に紙粉汚れを落す方法に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種のプリンターのブラテン汚れは、用紙を排出する際にブラテンに用紙の紙粉カスが付いて発生する。その紙粉カスを取る為に、従来はウェスに化学薬品を付けてブラテンを洗浄して

いた。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来のブラテン洗浄方法では、化学薬品が一般家庭では入手困難であること、およびブラテンの材質によって化学薬品を選ばなければならないことという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明のクリーニング方法では、粘着テープをロール上に巻き上げ、ロールとブラテンとを当接させることによりブラテンの汚れを清掃する。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図および第2図は本発明の一実施例の正面図および側面図である。クリーニングロール1には工夫された粘着テープが巻きつけられている。クリーニングロール1はクリーニングロールシャフト2に取り付けられさらにブッシュ4を介しフレーム5に取り付けられ、クリーニングロール1は自由に回転することができる。又ブラテン6に押し当る為にブッシュ4とフレーム5にはスプリ

ング3が取り付けられている。さらに、クリーニングロール1の粘着テープには横方向で簡単に切断できる切断目があり、クリーニング効果が悪くなれば簡単にその面を交換することが可能である。

ブラッシュ、5……フレーム、6……プラテン、7……プラテンブラッシュ。

代理人 弁理士 内 原 晋

次に動作を説明すると、両端のプラテンブラッシュ7にフレーム5が取り付けられると、プラテン6とクリーニングロール1は当接し、プラテン6の回転に順じてクリーニングロール1も回転し、プラテン6上の紙粉汚れがクリーニングされる。

〔発明の効果〕

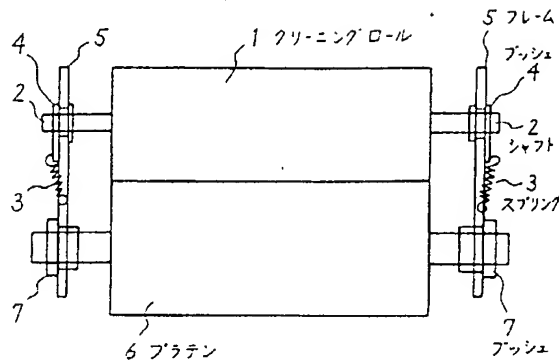
以上説明したように本発明は、工夫された粘着テープをロール上に巻き付け、プラテンに当接させることにより、プラテン上に付いた紙粉カスを清掃する効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の実施例の正面図、第2図はその側面図である。

1……クリーニングロール、2……クリーニングロールシャフト、3……スプリング、4……

第1図



第2図

